

仕 様 書

1 品 名 人工酸素呼吸器・救急車定置型酸素吸入装置・患者搬送用資機材

2 数 量 2セット（内訳は、「3規格等」のとおり）

3 規格等

(1) 人工酸素呼吸器

コーケンメディカル株式会社製の次の機種又は同等品を選定すること。

	品 名	品 番	数 量	規 格 等
1	救急搬送用 人工呼吸器アンサー (標準付属品含む)	KOM299RS	1 式	<p>(1)呼吸不全の傷病者に対して、酸素又は酸素と空気の混合ガスを、呼吸回路及び気管内チューブ又はフェイスマスク等を介して肺に導入し、強制的に或いは補助的に機械的人工呼吸の施工をすることを目的とした成人から小児まで適用する可搬型の人工呼吸器であること。</p> <p>(2)高規格救急自動車の人工酸素呼吸器固定装置に取り付けて正常に稼働すること。</p> <p>(3)交流電源：AC100V</p> <p>(4)バッテリー駆動：2時間以上</p> <p>(5)本体寸法：幅 255mm 以内×奥行 200mm 以内×高さ 99.5mm 以内(突起部除く)</p> <p>(6)換気回数設定範囲：2～40 回/分以上</p> <p>(7)吸気時間設定範囲：0.3 秒から 3 秒以上</p> <p>(8)1 回換気量設定範囲：50～3000ml 以上</p> <p>(9)酸素濃度設定：酸素 100%又は酸素 45%から選択</p> <p>(10)トリガ感度設定範囲：OFF、-5～19hPa 以上</p> <p>(11)気道内圧下限設定範囲：5～40hPa 以上</p> <p>(12)気道内圧上限設定範囲：10～60hPa 以上</p> <p>(13)気道内圧表示範囲：-10～80hPa 以上</p> <p>(14)次の換気機能の切り替えがあること</p> <p>ア 調節呼吸 設定換気回数によるサイクル時間、設定吸気時間及び設定 1 回換気量により周期的に機械換気を行うこと。</p> <p>イ 補助呼吸 (ア)自発呼吸による吸気陰圧が検出されない場合は、設定換気回数によるサイクル時間後に、機械換気が設定吸気時間で作動すること。</p> <p>(イ)機械換気の終了後、トリガウィンドウは次の機械換気まで能動的となり、このトリガウィンドウの能動的時間にトリガ感度レベルを超えて、自発呼吸の吸気陰圧が検出されてトリガした場合には、サイクル時間に拘わらずに同期して補助呼吸が作動すること。</p> <p>ウ 同期型間欠的強制換気</p> <p>エ CPR 同期 (ア)胸骨圧迫と人工呼吸の回数比を 30：2 又は 15：2 に設定変更が可能であること。</p> <p>(イ)胸骨圧迫の速さをブザー音で誘導する機能があること。</p> <p>(ウ)胸骨圧迫に伴う圧変化を検出し、自動スタートが可能であること。</p> <p>オ CPR 非同期</p>

				(7)胸骨圧迫に伴う圧変化を検出し、自動スタートが可能であること。 (4)ダブルストローク機能があること。 (15)自発呼吸発現時に同期し、かつ、発現の有無が確認できる機能を有すること。 (16)次の異常が発生した際、可視可聴による警報機能があること。 ア 気道内圧低下 イ 気道内圧過剰 ウ 供給ガス圧低下 エ 無呼吸 オ AC 電源遮断 カ バッテリー低下 キ スタンバイ待機超過(2分間)
2	リューザブル シングル呼吸回路	KOM3313F	1本	(1)蒸気滅菌可能な再使用型 (2)長さ：90 cm以上
3	ベンチサポートアーム	KOM733-TN	1本	(1)高規格救急自動車の1mm～15mmまでの対象物に取り付け可能 (2)フレキシブルアーム (3)長さ：280mm以上

(2) 救急車定置型酸素吸入装置

日本船舶薬品株式会社製の次の機種又は同等品を選定すること。(1から5を接続して使用する。)

	品名	品番	数量	規格等
1	減圧弁 SAヨーク型 ジュンロン チャック付	BE-1007-114	2個	ジュンロンチャック付
2	減圧弁FLW2型(ヨーク型)	BE-1007-015	1台	作動圧力19.6Mpa以下のものであること。
3	三方チーズ 高圧用	BE-2007-031	1個	高圧用
4	配管ホース 高圧用 6m	BE-2007-314 6M	1本	長さ6m、高圧用
5	オキシパック スリーエス	BE-1007-205 OX-III S	1個	・加湿器の容量 6L/minで6時間(±1時間以内)のもの ・過調整圧力逃し弁付 ・逆止弁付 ・加湿器落下防止装置付

(3) 患者搬送用資器材

株式会社ノルメカエイシア製の次の機種又は同等品を選定すること。

品名	品番	数量	規格等
DIFトランスバッグ 特注タイプ (標準付属品含む。)	DIF003	1セット	(1)送排気システム等によりバッグ内部を陰圧にでき、汚染された空気を外部へ放出しないこと。 (2)送排気は、バッテリーもしくは乾電池で駆動できること。 (3)全ての資器材を収納する専用バッグが附属していること。

※当該機種の製造中止等が判明した場合は、当該機種の後継機種で、かつ、必要な性能、規格を満たすものであると購入所管課が認めれば、当該後継機種を納品することができる。

※同等品を選定する場合は、令和8年5月29日(金)午後5時までに、「3規格等」表中規格等欄に適合するものであり、かつ、本体及び各付属品を接続して使用することができる資料(カタログ等)、製品及び「同等品申請書兼承認書」を購入所管課へ提出し、承認を得たうえで承認書を入札日時までに契約課へ持参すること。

4 **納入場所** 静岡市駿河区南八幡町 10 番 30 号 静岡市消防局警防部救急課

5 **納入期限** 令和 9 年 1 月 29 日 (金)
(ただし、購入所管課の指定した期日以降とすること。)

6 **その他**

- (1) 決定後、契約業者は速やかに購入所管課と連絡をとること。
- (2) 機器の梱包材等は、契約業者が持ち帰ること。
- (3) 機器の取り付け（車両内装のぎ装以外）で必要となる部品及び材料は、契約業者が用意すること。
- (4) 不明な点は、購入所管課へ連絡し指示を受けること。

7 **購入所管課** 消防局警防部救急課 企画係 担当者 古屋 電話：054-280-0199